

KANATAAKE

平成17・18年度 福岡市教育委員会研究指定

研究発表会要録

研究主題

幼児がのびのびと体を動かし、
進んで運動しようとするための
環境の構成の在り方



平成18年10月18日(水曜日)

福岡市立金武幼稚園

I 研究の概要

研究主題

「幼児がのびのびと体を動かし、進んで運動しようとするための環境の構成の在り方」

1 主題設定の理由

平成17年1月、中央教育審議会答申として、「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方」が示された。その内容の一つとして「運動能力の低下」の指摘がある。その要因として地域の遊び場、遊び仲間の減少、遊び内容の変化、車社会の影響による歩行不足等が挙げられている。

本園の幼児85名は福岡市7区のうち西区、早良区、城南区にまたがる20校区の広範囲から通園している。2～3名が時々徒歩通園する以外は、97%が車通園である。このことは歩行不足をもたらすだけでなく、園での遊び友達、遊び内容が地域・家庭の遊びに影響を及ぼすことについても期待しにくいということでもある。

このように、地域や家庭において戸外で体を動かす活動・遊び経験が少ないことから、思い切り体を動かして遊ぶことの心地よさや楽しさがもたらす、満足感、充実感、達成感などの経験が乏しいまま、室内の遊びに偏りがちな幼児も少なくない。幼稚園での生活を見ても、日常の遊びの取り組みは、室内での粘土遊び、絵描き、製作遊びなど静的な遊びが多く、戸外に出ても落ち着かないのかすぐに室内に戻って来る幼児の姿が見られる。

これまでも、幼児の運動遊びへの援助の重要性を認識し、そのための保育実践に努めてきたがそれだけでは不十分であり、幼児の運動能力の低下をくい止めるには至っていないのが現状である。今日の幼児にとって、遊びの条件すなわち、空間、仲間、時間が満たされる場は、唯一、幼稚園であることを再認識し、幼児がのびのびと体を動かし、進んで運動しようとするための具体的な援助を再検討する必要がある。

2 研究主題の意味

(1) 「のびのびと体を動かし」とは

- 空間的にゆったりした中で、心理的におおらかな気持ちで解放感を味わいながら、体の隅々まで全身を使って大きく体を動かす。
- 興味や関心をもった運動遊びの中で十分に体を動かし、心地よさや楽しさを感じ、生き生きと活動する。

(2) 「進んで運動しようとする」とは

- 自分なりの目標をもち、それができたという達成感を感じるにより、さらに、積極的に自分から繰り返し多様に体を動かして、運動遊びをする機会を増やそうとする。
- 自分から周囲の友達や教師、運動遊具に積極的にかかわりながら、思い切り全身を使って自らの意欲を満たす運動遊びをする。

(3) 「環境の構成の在り方」とは

- 幼児の興味や関心、発達の段階に応じた運動遊びの財産を増やすために、自分から体を動かしたくなるような運動遊具の活用や場の構成を工夫する。
- 幼児同士のかかわりが生まれるような場の構成や教師の援助について工夫をする。
- 幼児にとって不足しがちな動きを経験させるために時間の活用を図る。

3 研究の目標

幼児がのびのびと体を動かし、進んで運動遊びをするようになるための遊具の活用や遊びの場づくり、教師の援助の仕方など、工夫・改善を通して環境の構成の在り方を探る。

4 研究の仮説

多様な遊びが生まれる運動遊具の活用、幼児同士のかかわりを深める場の構成の工夫、運動遊びを増やすための時間の活用を図れば、のびのびと体を動かし進んで運動遊びに取り組む幼児が育つであろう。

5 研究の内容と方法

- (1) 運動遊びにおける『多様な動き「基本の36動作」』が生まれるような運動遊具の活用や場の構成を工夫する。
- (2) 運動遊びにおいて幼児同士のかかわりを深め合う場の構成や教師の援助について工夫する。
- (3) 個人差の大きい運動遊びに対して設定保育の活動計画を立て活用する。
- (4) 幼児の運動遊びの実態調査と運動能力の測定を行い、分析をする。
- (5) 「運動遊びの教育計画」を作成し、活用する。

6 研究の計画

(1) 1年次（平成17年度）

- 研究主題の共通理解を図り、研究計画を立案する。
- 幼児の遊びの実態調査をする。
- 研究保育を実施する。 6/8（3歳児）、6/28（4・5歳児）
- 研究保育を実施する。 11/1（全学級）
- 幼児の運動能力測定をする。（立ち幅跳び、ボール投げ、25m走、体支持持続時間）
- 1年間の実績や反省に基づいて「運動遊びの一覧表」を作成する。

(2) 2年次（平成18年度）

- 1年次の研究の成果と課題から研究の内容と方法の再確認をする。
- 「運動遊びの一覧表」に基づいて「運動遊びの教育計画」を作成する。
- 幼児の遊びの実態調査をする。
- 研究保育を実施する。 6/12（全学級）
- 研究保育を実施する。 9/20（全学級）
- 研究発表会を実施する。 10/18
- 研究発表会で出された意見や問題点などを検討し、研究推進に活用する。
- 2年間の研究をまとめ、課題を設定する。



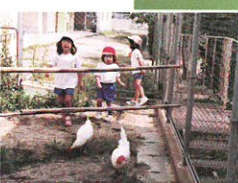
KA



NA



TA



KE

福岡市立金武幼稚園

〒819-0035 福岡市西区金武2028-1
TEL(092)811-1046 FAX(092)811-8785
<http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/kgkanatk/>